

# 座学と演習で学ぶカイゼン活動セミナー

DXの時代に重要度を増す現場改善  
ムダ取りのためのIEの基本原則と改善の着眼点を学ぶ

定員30名

参加費無料

7/18締切

日時

2023年7月25日(火) 9時30分～16時30分

場所

神戸市産業振興センター904会議室  
神戸市中央区東川崎町 1丁目 8-4  
(JR神戸駅より徒歩5分)

講師

大阪工業大学 情報科学部  
データサイエンス学科  
教授 皆川 健多郎 氏



対象

兵庫県内のものづくり企業の経営者、製造部門、生産技術の方  
特に現場の改善推進担当者、リーダー候補、作業者などでIE（イン  
ダストリアル・エンジニアリング）を初めて学ぶ方

## ～レゴブロックによる模擬生産演習～



申込み



申込み多数の場合は兵庫県内の中小製造業の方を優先する他、1社あたりの参加者数を制限する場合があります

お問い合わせ

(公財)新産業創造研究機構 技術支援部門 ものづくり技術部 担当：玉垣

TEL : 078-306-6806 e-mail : smart-m@niro.or.jp

## ■開催趣旨

IoTなどDX（デジタル技術活用）がものづくりの生産性を高める魔法のように語られています。確かにIoTは、生産現場の課題を洗い出す「見える化」のツールとしては強力ですが、最終的に現場の「カイゼン」につなげない限りは、生産性の向上は達成できません。

このような中、カイゼンの基本であるIE(インダストリアル・エンジニアリング：ムダ取りのための手法・着眼点)の重要性が近年、改めて見直されています。改善対象である現場の課題を把握するためには、IEの各手法を使うことも必要ですが、まず、「IEの基本原則」と「改善の着眼点」を知ることが重要となります。

本講習では、参加者が自社に戻って、現場カイゼンに着手するきっかけとなるよう、座学とレゴブロックによるミニカーの組立演習を通じて、改善活動を進める上でのIEの基本原則とムダ取りの着眼点を分かりやすく解説いたします。

## ■カリキュラム

1. IE(インダストリアル・エンジニアリング) の基礎
  - ① 「IE」とは？
  - ② ムダの概念（ムダ作業の層別）
  - ③ ECRSの原則（改善の着眼点・順序）
  - ④ 動作経済の原則
  - ⑤ 5S
2. 演習（動作改善）
  - ① 動作のムダの着眼とそのカイゼン
  - ② ベストポジション
  - ③ レゴブロックによる組立演習
3. グループ討議と発表
4. ラインバランシング
  - ① ロット生産と1個流し生産のメリットとデメリット
  - ② ラインバランス
  - ③ 流れ改善の進め方
5. 演習（流れ改善）
  - ① 現状の測定（バランス効率）
  - ② カイゼン案の検討（バランス効率の向上）
  - ③ 儲かるライン構築（省人化、少人化）
6. グループ討議と発表
7. まとめ